

JCP 青年サポーターズニュース

第8号 2017年7月

日本共産党八幡市委員会 075(982)9744

日本共産党八幡市議会議員団(983)2005 市議団メール jcp-ywta@am.wakwak.com

核兵器はダメ！

核兵器禁止条約を採択

加盟国の3分の2 122カ国が賛成

国連の交渉会議



核なき世界へ
歴史的
一歩

核兵器は、一瞬にして広島、長崎を焦土にしました。

人類史上初めて、「核兵器は違法」とする核兵器禁止条約が国連の交渉会議で採択されました(第2会期。6月～7月)。加盟国の3分の2、122カ国が賛成(保留1、反対1)しました。日本の被ばく者をはじめとする長年の取り組みが実を結び、「核なき世界へ」大きな一歩を踏み出しました。

核兵器禁止条約は、被ばく者などの犠牲者が「耐え難い犠牲をこうむった」と核兵器を告発。核兵器の開発、実験生産、貯蔵をはじめ、締約国の領土への核兵器の配置を禁止しました。核兵器「使用の威嚇(いかく)」も禁止しました。

「核兵器なくしたい」 この思いが世界を動かした

核兵器禁止条約を採択した国際会議には、日本から被ばく者団体、女性団体、青年団体などが参加しました。日本共産党から志位和夫委員長らが参加し、各国代表と懇談しました。3月の第1会期では、市民社会の代表として発言しました。

条約採択にあたり、広島で被爆したサーロー節子さんが国連会議で「この日を70年以上待ち続けていました」と声を詰まらせて話されました。「ふたたび被爆者をつくらない」と訴えてきた長年の運動が実を結びました。

ニュージーランド、 神戸市では

核兵器禁止条約は、核兵器に固執する国々を包囲し、核兵器のない世界へ進むことができます。

アメリカと軍事同盟を結ぶニュージーランド、日本の神戸市は、船などの入港に際し、「非核証明」を求めています。

1980年代以来、一度もアメリカの軍艦が入港していません。

各国、自治体の工夫した取り組みを広げましょう。

問われる核保有国、日本政府の態度

これまで戦争をめぐる歴史の中で、侵略戦争や毒ガス兵器などを「合法」とする時期もありましたが、国際条約の締結の流れの中で、一つずつ禁止されてきました。

今度は核兵器の生産や使用を禁止しようというのが今回の国際条約です。

今回、核保有国は交渉会議に参加せず、日本政府も唯一の被爆国なのに条約に背を向け、内外から批判を招いています。

市民運動の役割

しかし、条約に参加していない核兵器保有国と同盟国も、政治的・道義的な拘束を受けます。その国の態度を変えるのは、各国の市民運動です。各地で核兵器をなくす世論と運動を広げましょう。

奨学金返すのタイヘン!



給付奨学金を

学費は値下げ

7月30万人分

10年で半減
大学授業料

日本共産党

給付型先行実施は想定の数

世論と運動に押されて導入された返済不要の給付型奨学金。2018年度から2万人に適用しますが、先がけて17年度から2800人(国公立・月3万円、私立・月4万円支給)に先行実施するとされていました。

ところがフタを開けてみると7月時点で1473人、想定の数しか給付されていません。

住民税非課税世帯などの家計の基準がきびしいのに加え、成績基準として出身高校からの認定書を取り寄せるなどのハードルが設けられているからです。

全学生のわずか2.5%

18年度からスタートする給付奨学金も問題は山積しています。

給付対象はわずか2万人。全学生のわずか2.5%弱です。各国の受給率は、アメリカ47%、イギリス48%、ドイツ25%となっており、日本はけた違いに狭い枠です。

しかも文科省は、全国5000の高校に1人以上を割り振り、学習成績、部活などの活動などをもとに選定すると言います。

これでは、経済的理由で大学に行けない人を救済することになりません。

給付型奨学金は、4年生まで行きわたる21年度で220億円必要です。政府は、財源として生活福祉貸付金の縮小、大学院生の奨学金返還制度の縮小、無利子奨学金の借入額の制限など奨学金制度の見直しでねん出しようとしています。

お金の心配なく学べる教育を

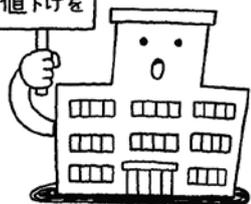
日本共産党は、返済しなくていい給付型奨学金、高すぎる大学学費の値下げを提案しています。

<奨学金> せめて諸外国並みに全学生数の2割強となる70万人に月3万円を支給します。今、返済中の人も含め奨学金を無利子に。必要な財源は国の予算の0.36%で可能です。

<学費値下げ> 学費の半減に向け、大学予算を毎年1100億円ずつ増やします。国立2.6万円、私立4.3万円値下げし、10年で授業料を半分に。

<財源は…> 4兆円の法人税減税や5兆円を突破した軍事費などを見直せば、財源は生み出せます。

授業料の値下げを



日本共産党の自己紹介

日本共産党は1922年7月15日創立、95年の歴史があります。日本の政党の中で一番長い歴史があります。当時は、天皇制の

絶対支配の中、言論、民主主義が抑圧される中、侵略戦争反対、国民の苦難を軽減することを掲げてがんばりつづけてきました。